

センコービジネスサポートのDX戦略



トップメッセージ

<基本方針>

当社はビジネス環境の変化を先取りしてお客様のニーズを的確にとらえ、信頼されるパートナーとして成長し続けることを目指しています。

これまでもRPAやAI-OCRなどのデジタル技術を使った生産性向上に取り組んできましたが、今後AIなどの最新技術を活用して、さらなる生産性向上と業務の高度化を実現してまいります。

<DX戦略>

当社は経営資源を重点的に投入することにより、各部署の主体的活動を推進し、DX人材の育成、デジタル技術による業務改善、データ活用による事業変革、新しいビジネスモデルの創出を実現し、これらを通じて顧客満足ならびに企業価値の向上を目指します。

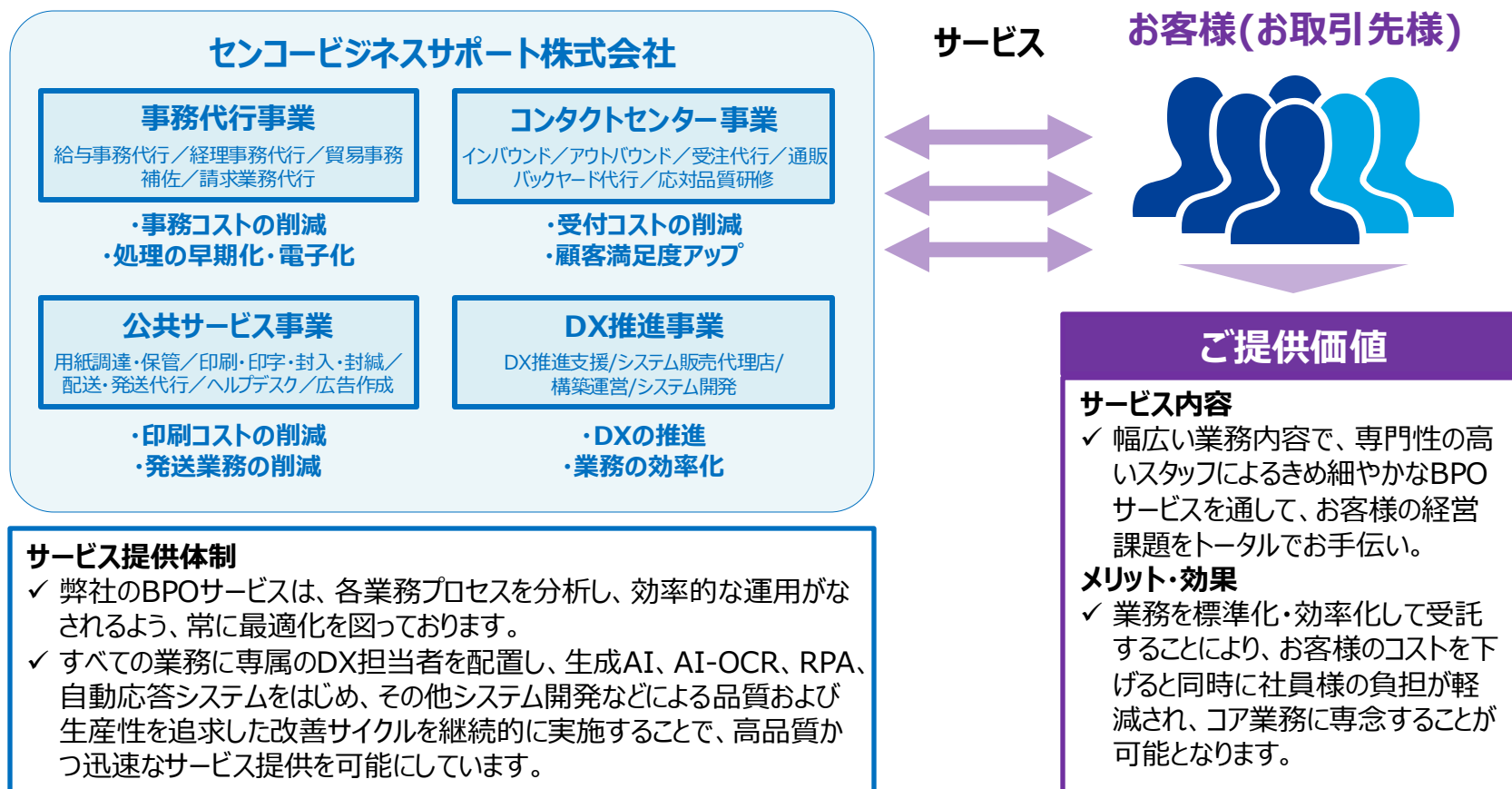
センコービジネスサポート株式会社
代表取締役社長 森岡 直人

1. センコービジネスサポートが目指す姿
2. センコービジネスサポートのDX戦略
3. DX推進体制
4. DX推進人材育成
5. IT環境整備
6. 成果指標

1. センコービジネスサポートが目指す姿

私たちはビジネス環境の変化を先取りし、お客様のニーズを的確にとらえて、常にお客様にとって何がベストかを考え、皆様の真のパートナーとして成長することを目指しています。

The Professional Partner “SBS” ～信頼をつむぎ、真心をこめて～

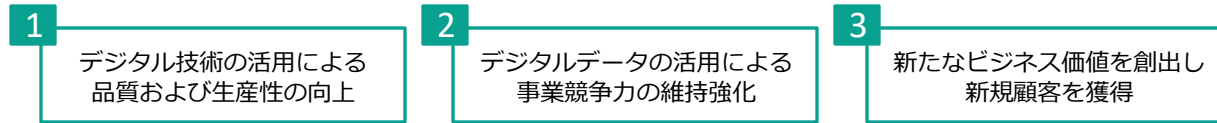


2. センコービジネスサポートのDX戦略

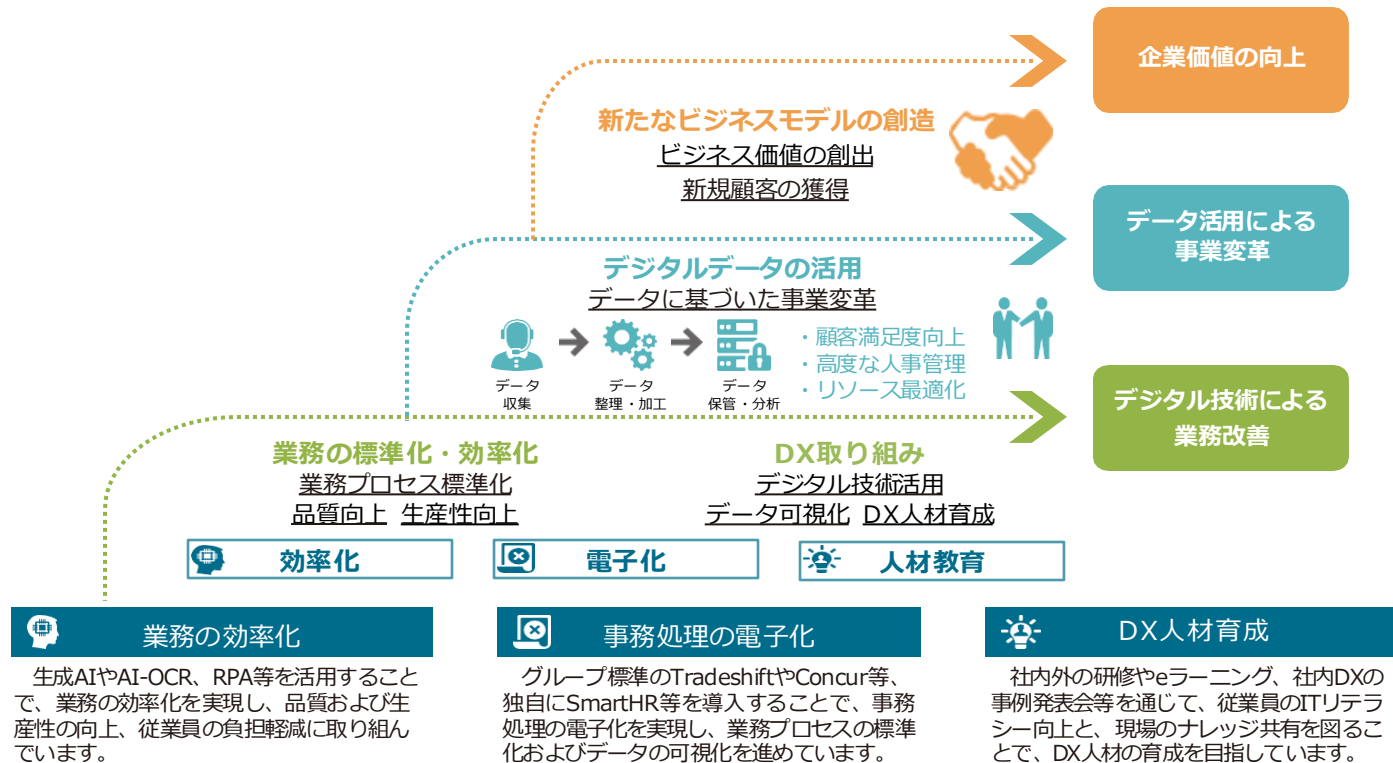
デジタル技術活用およびDX人材育成によって業務改善を行い、デジタルデータに基づいた事業変革を実現することで、「新たなビジネスモデル」を創造し、企業価値を向上させる。

DXの
狙い

デジタル技術による変革を戦略的に推進し、
新規顧客の獲得および競争優位性の確保を目指す。

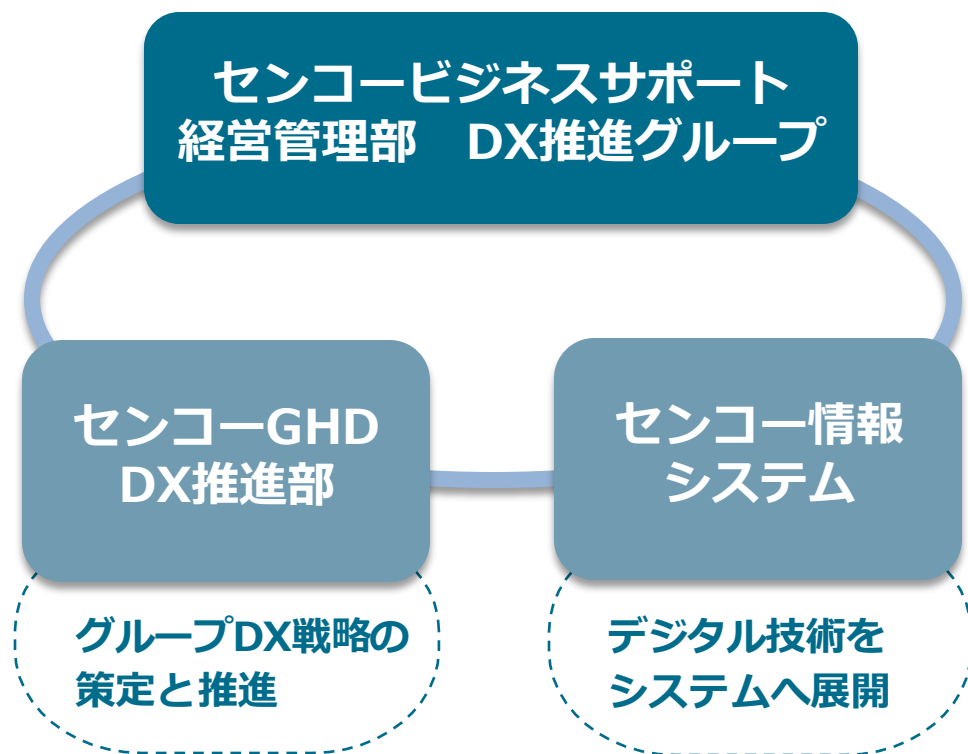


DX戦略と
取り組み

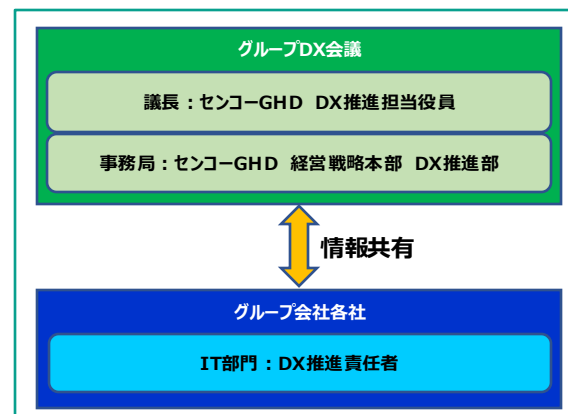


3. DX推進体制

経営管理部DX推進グループを中心に、センコーグループホールディングス株式会社（以下「センコーGHD」と表記）のDX推進部やセンコー情報システム株式会社など、DXの取り組みに関わる各グループ会社・部門と組織横断的に連携を強化。



グループ各社との連携の仕組み (グループDX会議)



Dx推進担当役員とグループ各社Dx推進責任者が参加し、グループ全体のDx戦略推進・経営管理機能強化・IT基盤整備等議論を定期的に開催

社内体制

- ・ DX推進メンバーを増員するとともに、ITソリューション部を「DX推進部」へ改称。（2025/4/1）
- ・ DX推進を経営管理の重要施策と位置づけ、新設の経営管理部にDX推進グループを設置（2026/4/1）
- ・ DX推進リーダー、DX責任者を各部署より選出（2026/4/1）

4. DX推進人材育成

センコービジネスサポートでは、従業員のITリテラシー向上や、ナレッジの共有に取り組み、事業・業務に精通し、デジタル技術を活用した新しい提供価値を創造できる人材を育成。

目指す DX推進人材像

DXによる業務改善、事業変革、企業価値向上の実現に向けて、
以下3つを結び付け、社内を主体的に動かし、成果を出すことのできる人材。

- ①お客様の真のニーズ
- ②我々の持てる資源（業務知識・アイデア）
- ③デジタル技術

DX人材育成のステップ

概要

Step3.

ビジネス課題の
解決や新事業
創造をめざす

- 業務プロセスの課題解決に向けた実践
- 顧客への価値提供に向けた実践
- 実践を通じた部署および社内への伝播

Step2.

実事例を通じて
職場でのIT活用を
推進する

- 業務プロセスを整理して課題を考える
- デジタル技術を用いた解決策を検討する
- 顧客への価値提供を考える

Step1.

IT活用の基礎を学ぶ

- 研修およびeラーニングによる学習機会の提供
- 社内DX事例発表会によるナレッジの共有
- DX推進リーダー・責任者を各部より選出、部署連携による育成

5. IT環境整備

センコービジネスサポートのDX戦略実現に向け、IT環境整備として取り組むべきテーマを設定

① 脱レガシーシステム

レガシーシステムから脱却し、クラウドシステムにシフトする。

② グループ情報共有基盤の活用

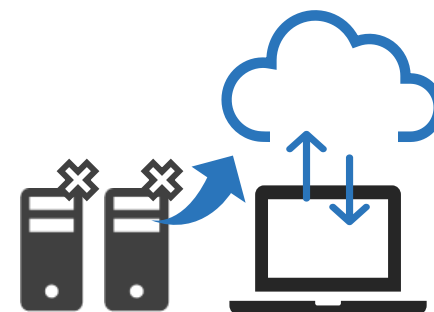
センコーグループ標準の情報共有基盤を活用して、社内外の情報共有と働き方DXを推進する。

③ データガバナンスの強化

社内共通システムによるデータの収集・標準化を推進し、データ活用へ繋げる。

④ 生成AI活用に対応したIT・セキュリティ基盤の整備

情報管理・セキュリティを確保した上でAI活用を推進する。



① 脱レガシーシステム



② グループ情報共有基盤の活用



③ データガバナンスの強化



④ 生成AI活用に対応した基盤整理

6. 成果指標

DX戦略の達成度を測るための指標を設定

	DXで実現したいこと	主な定量指標
企業価値の向上	<ul style="list-style-type: none">• ビジネス価値の創出• 新規顧客の獲得	<ul style="list-style-type: none">• 1人あたり、時間あたりの生産量• 新規顧客獲得割合
データ活用による事業変革	<ul style="list-style-type: none">• データ活用の実施• リソースの最適化による利益率の向上	<ul style="list-style-type: none">• データ活用テーマの数• 業務別利益率
デジタル技術による業務改善	<ul style="list-style-type: none">• デジタル技術による品質、生産性の向上	<ul style="list-style-type: none">• 品質クレーム件数• 効率化による削減時間
共通	<ul style="list-style-type: none">• デジタル技術による業務の標準化• DX人材の育成および確保	<ul style="list-style-type: none">• 社内標準システムの数• IT、情報処理の資格取得者数